

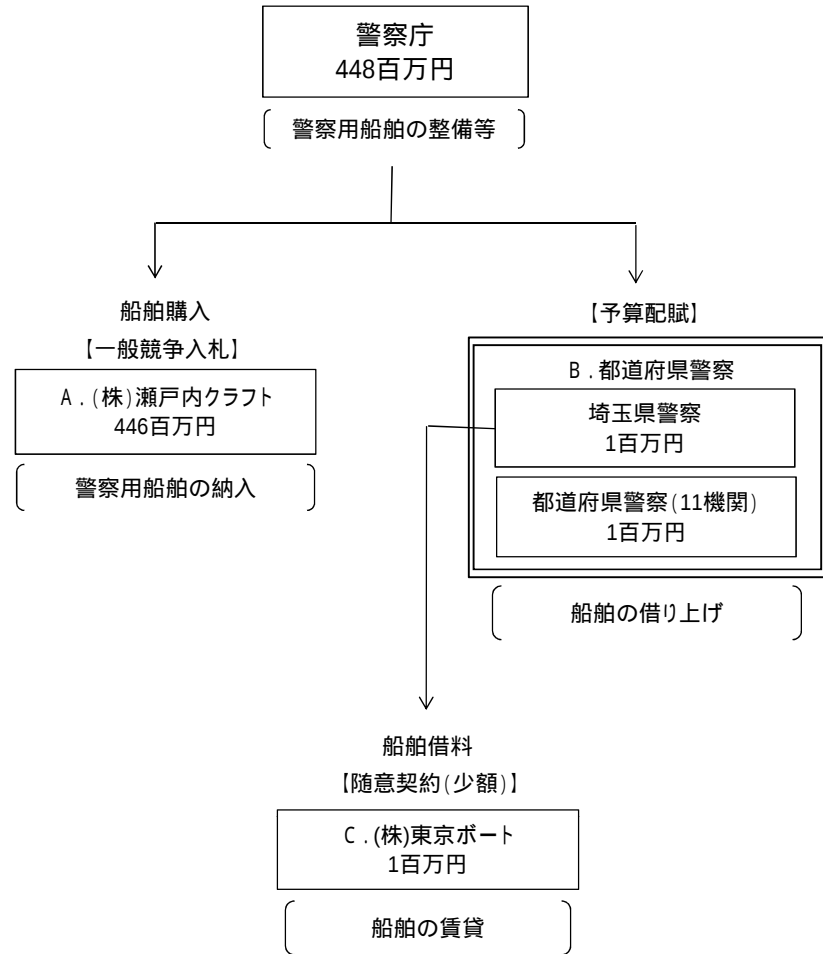
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	警察用船舶の整備	担当部局庁	長官官房	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	-	担当課室	会計課装備室	装備室長 家永 宏之				
会計区分	一般会計	施策名	複数施策(1～7)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厳しい治安情勢の下、沿岸及び港湾等に水上における警察活動の基盤となる警察用船舶を国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の水上警察活動を適切かつ効果的・効率的に遂行することができるようにする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	警察用船舶は、水上警察活動の機動力として多角的に活用されているところであるが、老朽化した船舶は速力が低下し、密入国、密輸・密漁等の取締りに支障を来すことから更新整備を図る。 また、修理等により船舶が使用できない場合や夏期の海水浴場における水難事故警戒、水難者の搜索活動、沿岸警備活動の強化等により船舶が不足する場合に、都道府県警察において、船舶を一時的に借り上げを行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	763	657	450	4	1,228	
		補正予算	0	0	126	163		
		繰越し等	0	0	105	105		
		計	763	657	471	272	1,228	
	執行額		762	656	448			
	執行率(%)		100%	100%	95%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 警察活動に必要な船舶の整備		成果実績	隻	186	181	178	-
	(成果実績) 警察用船舶の保有数		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	警察用船舶の整備数		活動実績 (当初見込み)	隻	7	6	6 (6)	- (3)
単位当たりコスト	56,700千円 / 隻		算出根拠	平成22年度における船舶(12m)1隻の整備に要する経費を単位当たりコストとする。 「単位当たりコスト = X / Y」 X: 22年度に整備した12m型船舶の執行額(170,100千円) Y: 22年度に整備した12m型船舶隻数(3隻)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	船舶借料	4	4	船舶購入費については、平成23年度警察庁予算概算要求・要望において、「元気な日本復活特別枠」に要望し、「治安水準の更なる向上のための総合対策の推進」として126百万円計上していたものが、閣議決定された「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」の方針に基づき、平成22年度補正予算(第1号)で前倒し措置されたことから、平成23年度当初予算額が「0」であったもので、平成24年度要求において予算額が急激に増加したということではない。 なお、平成24年度予算概算要求に当たり、更新対象船舶の整理を図り、調達数(必要数)の見直しを行った他、契約実績を反映した要求単価の見直しを実施し、予算の削減を図った。				
	船舶建造費	0	783					
	船舶購入費	0	441					
計	4	1,228	東日本大震災復興関連事業(1,224百万円)					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察用船舶の整備は、警察庁において一括調達しているため、支出先については把握している。 また、都道府県警察に予算配賦している船舶借料については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているため、支出先については把握している。		
	2 見直しの余地 警察用船舶は警察活動を行う上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警察用船舶の更新や、治安情勢に応じた充実強化を図る必要があるが、近年、船舶の性能が向上していることから、警察用船舶の運用の効率化を図ることが可能かどうか検討する。 また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の見直し・点検を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに競争性、経済性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組みを行っており、今後も効率的な予算執行に努める。 船舶借料については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているため、支出先・使途等を把握しており、また、契約の都度、過去の実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところであり、今後とも引き続き実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1	支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
	2	改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 平成24年度予算概算要求に当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算の削減に努めること。	
	3	レビューシートのわかりやすさに関する所見 おおむねわかりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成24年度予算概算要求に当たり、更新対象船舶の整理を図り、調達数(必要数)の見直しを行った他、契約実績を反映した要求単価の見直しを実施し、予算の削減を図った。(削減額:387百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A. (株)瀬戸内クラフト			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	船舶購入	警察用船舶の購入	446			
	計		446	計		0
	B. 埼玉県警察			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	予算配賦	船舶の借り上げ	1			
	計		1	計		0
	C. (株)東京ボート			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	船舶借料	船舶の賃貸	1			
	計		1	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)瀬戸内クラフト	警察用船舶の納入	446	6	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	埼玉県警察	予算配賦	1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

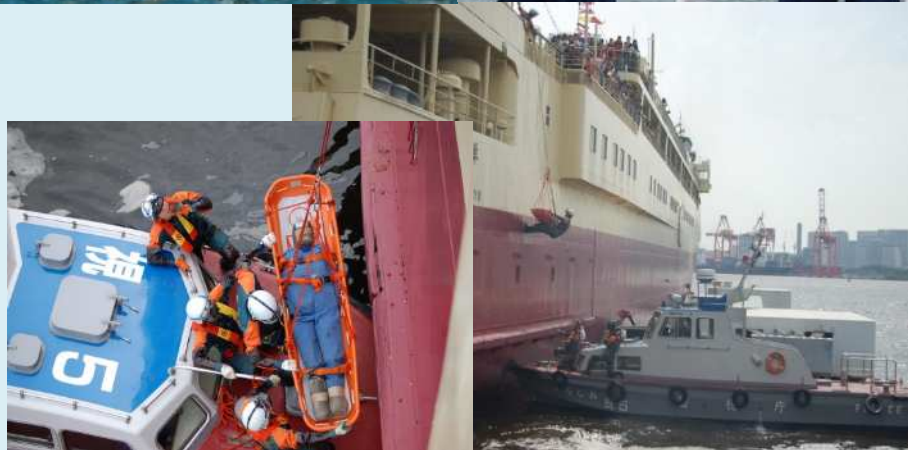
支出先上位10者リスト

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京ポート	船舶の賃貸	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

警察用船舶の活動状況

搜索救助活動



警戒警備活動



取締活動



広報活動

